

第18期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会 6月講義施行ミニテスト

解答は解答用紙に記入してください。

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を付けなさい。

- 1 非肥満の2型糖尿病患者には早めに経口糖尿病薬を投与すべきである。
- 2 糖尿病治療におけるコントロール状況の判断には、血糖関連の検査以外にも血圧、脂質、体重など多くの項目を指標とすべきである。
- 3 初診時に高血糖 300mg/dl 以上かつ尿中ケトン 3+以上の所見を認めた場合は、すみやかに専門医へ紹介すべきである。
- 4 DPP4阻害薬は、インスリン分泌刺激薬なので、SU薬と同じく、食前(後)に飲み忘れた場合1時間以上経過していたらその回の服用を避けるべきである。
- 5 皮下注での超速効型・速攻型インスリン吸収速度は、肩や上腕、臀部、大腿などの部位に比べ、腹壁が最も早い。
- 6 SMBGの器具貸与やチップ・穿刺針について保険適用が認められているのは、インスリン自己注射を行っている患者に限られる。
- 7 海外旅行時、インスリン注射一式(製剤、針、消毒用具ほか)は通常必要量の2倍程度を用意し、2つのバックに分散してその両方ともを手荷物として機内に持ち込む。
- 8 フットケアにおける靴下選びにはいくつかの注意点があるが、色調としては白色のものを勧める。
- 9 84歳の高齢糖尿病男性、SU薬を中心とした治療を受け HbA1c6.5%、受診時朝食後血糖 180mg/dl。家族から、最近起床時などにぼーっとして物忘れも多い、と訴えがあり、まずは認知症専門医へ紹介、MMSEを受けてもらって認知症評価を行うのがよい。